

マリニンを かこむ啓蟄夜

けいちつや



●出演

『文角—BUNKAKU—』

メンバー：BUN Imai，角銅 真実

●曲目

* インベンション1 番 / J.S. バッハ

* きらきら星変奏曲より抜粋 / W.A. モーツァルト

* 映画「チェブラーシュカ」より " 空色の列車 "

* オリジナル曲 ほか

平成29年3月15日(水)

18:30～19:30 (18:00 開場)

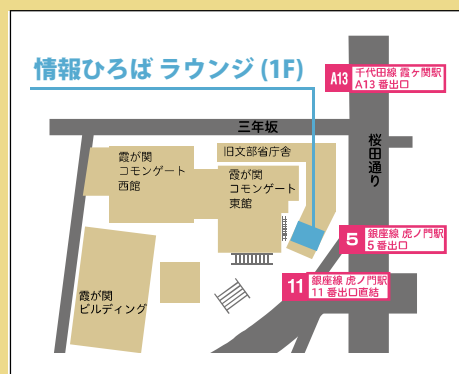
●出演 『文角—BUNKAKU—』
メンバー：BUN Imai，角銅 真実

●主催 文化庁/霞が関コモンゲート管理組合
/新日鉄興和不動産株式会社

●場所 文部科学省「情報ひろばラウンジ」
(旧文部省庁舎1階)
東京都千代田区霞が関3-2-2

●入場無料 (事前申込不要)

●お問合せ先
文化庁 長官官房政策課
文化広報・地域連携室
TEL 03-5253-4111 内線(2810)



◆ 文角 -BUNKAKU- ◆

パーカッショニスト BUN Imai と角銅真実によるデュオプロジェクト。

「部屋の音楽 - living room music」をコンセプトに立ち上げ、パーカッション、マリンバを主体としながらも、うたやマンドラ、はたまた生活用品など身近にあるもの全てを言語としオリジナル音楽を発信している。

髪が短いという共通点以外は全く真逆な感性とバックグラウンドが絡み合い寄り添い、愉快地音を奏でている。

Youtube でも同名義でオリジナル動画を公開中。

BUN Imai



東京都目黒区出身。東京藝術大学打楽器専攻卒業。

幼少よりピアノ、作曲、ドラムス、マンドラ、パーカッションを通して音楽に親しむ。

現在はミュージカル、スタジオワーク、セッションワーク、ライブサポート、ダンス作品への音楽提供など、ジャンルや形態を限定せず幅広く活動している。

これまでの参加作品：

ミュージカル「100万回生きたねこ（インバル・ピント&アブシャロム・ポラック演出）」

「アダムスファミリー（白井晃演出）」「BLOOD Brothers（グレン・ウォールフォード演出）」ほか
TVドラマ「漱石悶々」ほか

角銅 真実 Manami Kakudo



音楽家。マリンバを始め、打楽器 自作楽器 自身の声を用いての演奏活動のほか、作曲家の新作初演・コンサートや各種レコーディング・ライブサポート（cero, Doppelzimmer, 野田薫 etc）テレビ番組収録などの演奏活動、音楽制作、アートプロジェクトでの作品制作など演奏だけにとどまらない作家としての活動を展開している。

主な作品：

谷中 HAGISO での個展” なにかな？”（HAGISO/2015）

十日町合唱団（越後妻有アートトリエンナーレ /2015）

たまりばで（TURN フェス / 東京都美術館 /2016）など